

朝の1年生教室がにぎやかである。入学してくれたのは21人だが、どうもそれ以上に人数が多い気がする。なんとなく、気がついてはいたけれども、特に気にはしていなかった▼無意識に見ていた物事が、何かのきっかけで、パズルのピースのようにはまり、その周囲とともに鮮明に見えてくることがある▼2年生の子どもたちが、朝の1年生教室に「お手伝い」に来てくれていた。ランドセルから勉強道具を取り出し、机の引き出しに入れ、先生に出すものを出し……。そういった朝のルーティンをお手伝いに来てくれていた▼2年生ができることはないだろうか？担任と子どもたちが考えた結果、「給食」「そうじ」「休み時間」に手助けできることを考えたそうだ。月曜日には、アサガオの種のプレゼントも▼その動機はいたってシンプル。「自分たちが1年生の時にしてもらったから。」シンプルだが素敵な言葉。バタフライエフェクトだ▼価値ある行動を子どもが受け継ぐ。学校という縦集団の集まりの中で脈々と受け継がれていくものが「伝統」となる。先輩が後ろ姿をちゃんと見せている。かっこいい。▼今日からは縦割り班掃除が始まる。昨年度から掃除は、週3回になったが、きれいな阿下喜小学校が保たれた。「縦割り班掃除」をすれば、学校がきれいになるわけではない。「縦割り班掃除」という仕組みの中にもバタフライエフェクトがある。